

TDB TEIKOKU NEWS *daily*

発行所: 株式会社 帝国データバンク

(東京支社)
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町14-3
TEL: 03-5919-9200(代 表)
TEL: 03-5919-9342(情報統括部)
e-mail: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

(本 社)
〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20
TEL: 03-5775-3000(大代表)
URL: <https://www.tdb.co.jp>

1/13
thu.

2022
NO.15589

03—Scope&Focus

エイチ・アイ・エス

— 子会社の「Go To トラベル」不正受給問題が与えた影響は

04—東京都企業倒産 2021年

2021年は過去最少となる1104件

08—倒産・動向記事

ミレニアム など3社

[沖縄県などでレンタカー事業を手がけるトラベルレンタカーなどの持ち株会社] (東京・沖縄)

湘南ベンディング [ベンダー業] (神奈川)

トーア [接着剤卸] (神奈川)

フォーユー [介護施設運営] (静岡)

その他全国の倒産・動向

10—Break time

第一生命サラリーマン川柳コンクールより

11—企業ZOOM UP 第1215回

セーフティ

— 運行管理請負のプロフェッショナル

12—視点

長期化懸念高まる世界的な半導体不足

経済評論家 真壁 昭夫

「新型コロナ関連倒産 最新情報」は<https://www.tdb.co.jp>でご覧いただけます

No. 1215

企業 zoom up

株式会社セーフティ

運行管理請負のプロフェッショナル

企業の経営者や役員が乗る黒塗りの高級車、その運行管理を請け負うのが(株)セーフティだ。緑ナンバーのハイヤーではなく白ナンバーの自家用自動車ともなれば、その会社のステータスを示すことになる。しかし、米田忠志社長付きの専任運転士はいないという。その理由は、インタビューの中で色々なお話を伺ううちにわかってきた。

当社が提供するサービスは、契約先が自家用自動車またはリース車両を用意し、当社が常勤で雇用している社員を専任運転士として配属するもの。契約は1年毎の更新だ。自家用自動車の所有権は契約者にあるため自動車税、自動車重量税や自賠責保険の支払い義務はあるが、運転業務や運行労務管理、車両の保守・管理を安心して任せられるメリットがある。

ドライバーは50代が中心。道交法の遵守はもちろん、優れた運転技術とマナーを身につけ、道路を知り尽くしたその道のプロだ。自衛隊出身者や元競輪選手、近年はホテルマンやブライダル関連業界の出身者も増えてきた。彼らは規律正しく、上下関係に厳しく、公私の別をわきまえて無駄口をきかない。「極端な話、運転技術などは教育研修プログラムでみっちり教え込むのでまっさらで構わない。しかし礼節やマナーというものは一朝一夕では身につかない」。65歳定年だが、シニア雇用で最長72歳の者もいる。契約者から絶対的な信頼を寄せられ、この域に達すればもはや「秘書以上の秘書」という存在になる。

米田社長の専任運転士がいないのは、そのためだ。「当社にとっては熟練したドライバーこそが最高の商品であり、宝です。私も含めて経営陣がドライバーの研修以外で乗ることはありません」。ちなみにこの世界の営業は口コミの影響が大きい。優れたドライバーは替えが効かない。5年、10年の長期契約になる。営業をかけても、それが結実するのは何年も先になる。「ところが社長同士、役員同士の会話であそこはいいよ、となれば即決する。だからこそ優れたドライバーを育て、契約者から信頼され、良い評判を得ることが大事なのです」。現在、当社の得意先は大企業、金融機関、オーナー経営者など約400社にも達している。

米田社長はもともと、生命保険会社のシステム

米田忠志社長。「コロナの影響もあったが……現在はいよいよ平常時に戻ってきた」とのこと



部門の担当役員だった。社長に就任してから2年半になる。「ドライバーやマネージャーの人間力でこれまでやってきた会社。これが最大の強みだし、失いたくない。しかしやはりシステム化の遅れは感じる」という。働き方改革やDXの波はこの業界にも押し寄せ、長時間労働問題の改善を迫っているし、テレマティクスや自動運転などの技術革新にも対応していかなければならない。2022年、全社管理基幹システムの再構築に取り組む。これまでは汎用品をカスタマイズしていたが、自社開発によって大幅な機能強化と業務効率向上を果たす見込みだ。

とはいえ先に述べたように、車両運行管理業は簡単に売り上げを伸ばしていける商売ではない。米田社長がもうひとつの柱に据えているのが医療事務の受託や保育士、給食スタッフの派遣などを行う人材事業だ。10年前、多角化の一環で始めたものだが、「ようやく利益が得られるレベルに入ってきた。特に医療事務は成長分野。まだまだ伸びしろがある」。現在15%の売上構成比を、早期に30%まで高める方針だ。

中核事業の盤石な体制、収益源の多様化、無借金経営、ブレることなくこの路線を歩んでいってほしい。

(取材・文／東京支社情報統括部 太宰 俊郎)

会社概要

(株) セーフティ

T D B 企業コード：983256686

法人番号：5011101010948

東京都新宿区西新宿2-4-1

電話：03-3345-7911

代表：米田 忠志（ヨネダ タダシ）氏

設立：1986年（昭和61年）2月

資本金：3000万円

事業内容：企業の役員車等の運行管理業務請負

年収入高：約61億9100万円（2021年3月期）

<https://www.safety-ssm.co.jp/>